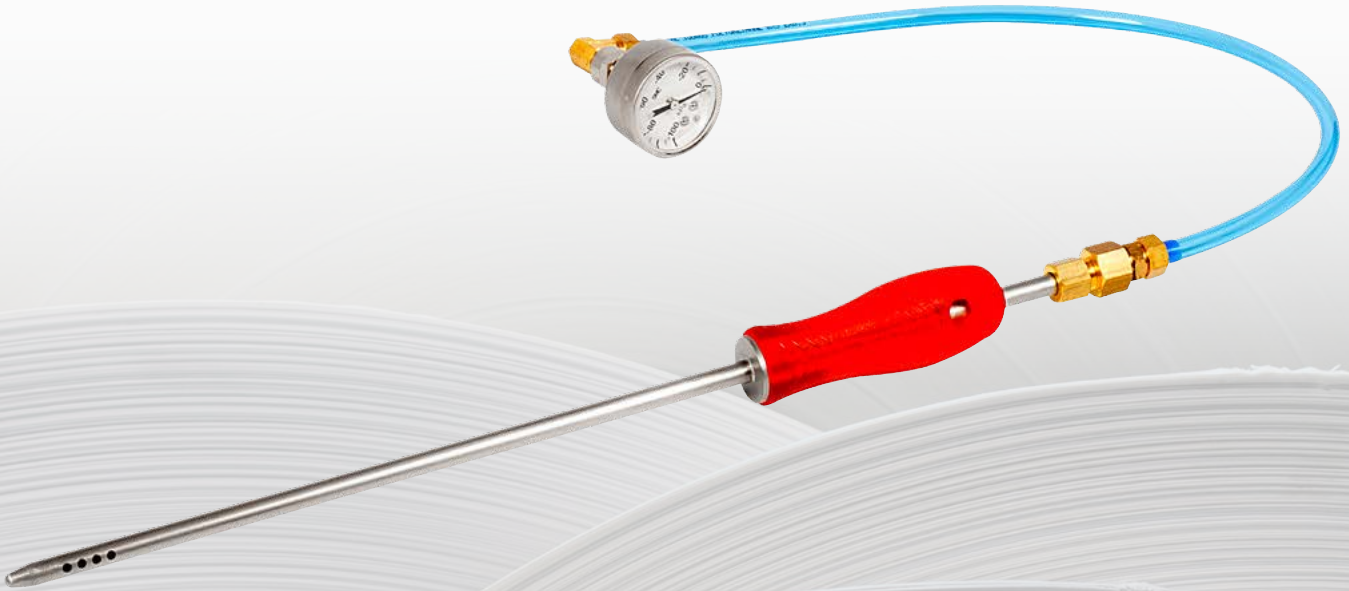


ランナビリティを最大限に



Uhleボックスでリアルバックを測定する3つの理由:

1

ポンプ近くの真空度
≠Uhleボックスで近
くの真空度

Uhleボックスで重要な箇所を測定

Uhleボックスで使用可能な真空は、ポンプで発生する真空とは異なります。

同じシステムに接続された配管、(汚染された)バルブおよび他の消費者は、あらゆる位置で真空に影響します。したがって、Uhleボックスで真空を確認したい場合は、測定する場所は1つだけです。

Uhleボックスでの真空の確認と設定

リアルバックを使用すると、マシンのテンダー側とドライブ側の両方の真空度を簡単に比較できます。Uhle内部の汚染のように、いくつかの要因によって両側の真空の差が生じる可能性があります。リアルバックを使用すると、ボックスの比較が容易になりますが、配管のレイアウトとバルブの位置も変わります。

リアルバックは、近くに固定マノメータがない場合でも、真空バルブをオンサイトに設定するのに非常に役立つツールです。

2

テンダー側とドライブ
側の違いを検出し、プ
ロファイルに与える影
響を評価

3

シンプルで迅速、
そして信頼できます！

仕 様		RealVac
チューブ:	材質	ステンレス材
	sチューブサイズ	270 x Ø8 mm
	グリップ長	100 mm
マノメーター:	型式 / 設計	ブルドン管圧力計
	ハウジングサイズ	Ø 42 mm
	材 質	真鍮製プラグ付きティーケーシング
	スケールユニット	0 to -100 kPa
重 量	総重量	0.3 kg



稼働中の抄紙機であらゆる種類の測定を行うことは潜在的に危険であり、注意力、集中力、知識が必要です。Feltest Equipment BVの製品は、意図された用途のためにできるだけ安全になるように設計され、構成されています。FeltestEquipment BVは、Feltest Equipment BVの製品を使用して生じた傷害または損害について、一切の責任を負わないものとします。製品は、予告なく仕様変更されることがあります。

アイジーティ・テストシステムズ株式会社

Telephone: 043-308-7302

Email: info@igt.co.jp Internet: www.igt.co.jp